夕刊
二月十七日發行
定價 一部 金五錢 一ケ月 金六拾錢（郵税拾五錢）
磐城新聞社

超高速度の小說涉獵　五

赤井嶽男輯錄

（その一）

開國哀史 唐人お吉

『お呼びでございましたか！』

お吉は酒の醉ひに亂れた髮れつで、かう云ひ乍ら、コンセルたちの待つ堂内にはいつていつた。

が、だれも、それには答へてくれなかつた、そこには、ハリスがゐた、ヒースケンがゐた、奉行も、通詞も、伊佐もゐたけれど、しかし、だれも、それには答へてはくれやうとしなかつた。

みな、だれもが、咎めるやうなさげすむやうな視線で、ぢろり、彼女を、みかへしただけだつた。

『あのう……』

おきちは、救ひをもとめるやうな視線を、伊佐に送つた。

その視線と、自分の視線がゆきあふと、伊佐は、はつとしたように、あはたゞしく、をそらしたが。

『おきち！』

やがて、彼はいつた。

『いま、そちを呼んだのは他でもない。長らく、そちが仕へてゐたコンセルどのには、この度びめでたく、ミニスターといふお役に榮轉されて、江戸お表へ赴かれることになつたのぢや』

『まあ』

それときくと、おきちは自分のことのやうに喜んだ。

『あの、お江戸へ……』

『さうぢや』

『ためでたうございます』

おきちは、ハリスをみて心からた祝ひをいつた。

が、ハリスは、なぜかそつぽを向いて答へなかつた。

『ついては……』、

伊佐は、氣の毒さうにいつた。

『長らくそちにも、苦勞をかけたが、本日限りたいとまを下さる故、心のまゝにきつたがよからう』

『ヒッ！』

おきちは、はつとした。

『あの、いとまを……』

『さうぢや』

それは、おきちにとつて信ぜられない、信ぜられない、言葉だつた。喜んでいゝことか。かなしんでいゝことか、それさへ、おきちには判らなかつた。

いいや、それは決して彼女にとつて、嬉しい言葉ではなかつた。

——唐人お吉！黑船お吉！

——厄病神のお吉！

さうした誹謗の飛ぶ町にただひとりゐ殘ることが、どうしてうれしいことといひえやう、それよりはいつそ……さうだ。

『お願ひでございます』

おきちは、酒の醉ひのさめ弱い女をけものに賣つて、みゝ國に恥をかかせたのは、では、いつたいゝなたでございます！』

（今日今日）

△威海衛占領、之れより先伊東司令官書を丁汝昌に送つて降服を勸めその應ぜざるを見るや夜、艦隊を引上げる、後大石藏内〃下以は四大名へ分けて預け安兵衛は松平隱岐守樣へお預けになりましたが翌年二月四日切腹して相果てました。『赤鞘安兵衛』は是にて大團圓……。

冬の山村

島田忠夫

蜜柑負ひくだる人に幾たび會ひし見かへれば海はま下に寄れり

ふかぶかと日さしとほる冬木山くぬぎ枯葉のあたたかきいろ

まあたらしき雉さげつつ山徑に焚火踏み消す人の居りけり

あたま痒くなりて掻きゐる山上に乾く枯葉を敷き憩ひつゝ

山越へて小舟の里は家すくなみ冬の日和に艘すりにけり

冬ま昔義太夫かたる家ありて小さき山の村したしく思はる

夕ぐれし峽道の上の日あたる山人柴刈れりもみぢのこりて

拍手微笑

◇

廿五歳禁酒期成

全國同志大會の日に石城地方は舊の元日で飲む

◇

あすの買ひそめに引きそめなん

◇

第二回政府米買上げ。今度は呉でなく最初から俵へ入れること

◇

舊師走迄に來なかつた漁農村救ひ濟資金新の年末に間に合ひそう

◇

武辨の安兵衛から濃艶な元祿美妓へ。本紙の小說あすから變る

○——○

仙臺 JOHK

……十八日〔水曜〕……

△七、〇〇 七、三〇 ラヂオ体操

△六、〇〇A 氣象通報

△六、〇〇 經濟市況

△六、一〇 料理講立（カレーライス）朝倉長吉發表

△九、三〇 一〇、二〇A 經濟市況

△一〇、三〇 一一、〇〇A 家庭講座（二月の花と盆景）『一』小島泰次郎

△一一、四〇A 經濟市況

△正午 時報

△後〇、〇五 〇、四〇A 講演（孝女ものよ）神田伯治

△〇、〇〇 全國ニュース

△〇、一〇 氣象通報 告知事項

△一、〇〇 一、五〇A 經濟市況

△二、〇〇 二、三 A 家庭講座（女性のための哲學）『第四講』ギリシヤの哲學日大教授松原寛

△二、三〇A 經濟市況

△三、四〇 氣象通報積雪量

△三、五〇 經濟市況

△四、〇〇A 全國ニュース

△五、〇〇 五、三〇A 講演（本邦綿羊の現況に就て）

△五、三〇A 經濟市況

△五、四五 今晩の番組豫告

△六、〇〇 六、三〇（子供の時間）お話（傳書鳩）テキスト一〇ページ 田中豐藏

△六、三〇 七、〇〇A 英語講座（初等科一〇）岡倉山三郎

△七 A 全國ニュース（官廳ニュース含む）

△七、二五 七、五五 講演（松島の特色）小倉博

△八、〇〇 八、三〇A 浪花節（櫻田烈士鯉淵要人）門家右樂遊

△八、三〇 九、〇〇 ーカ 清元（種蒔三番叟）

△九、〇〇 九、三八A 獨唱 管弦樂

△九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組 告知事項

△一〇、〇〇 農林省畜産課長石崎芳吉 組豫告 告知事項

△一〇、一〇 一〇、二〇A 經濟市況

△一〇、二〇 一一、〇〇A 家庭講座（二月の花と盆景）『一』小島泰次郎

△一一、四〇A 經濟市況

△正午 時報

△後〇、〇五 〇、四〇A 講演（孝女ものよ）神田伯治

△〇、〇〇 全國ニュース

△〇、一〇 氣象通報 告知事項

△一、〇〇 一、五〇A 經濟市況

△二、〇〇 二、三 A 家庭講座（女性のための哲學）『第四講』ギリシヤの哲學日大教授松原寛

△二、三〇A 經濟市況

△三、四〇 氣象通報積雪量

△三、五〇 經濟市況

△四、〇〇A 全國ニュース

△五、〇〇 五、三〇A 講演（本邦綿羊の現況に就て）

△六、三〇 七、〇〇A 英語講座（初等科一〇）岡倉山三郎

△七、二五 七、五五 講演（松島の特色）小倉博

△八、〇〇 八、三〇A 浪花節（櫻田烈士鯉淵要人）門家右樂遊

△八、三〇 九、〇〇 ーカ 清元（種蒔三番叟）

△九、〇〇 九、三八A 獨唱 管弦樂

△九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組 告知事項

赤鞘安兵衛

講談

東京 桃川燕二演

村田月光畫

（一七四）

暫くはジリ、ッ或は進み或ひは退き、互に呼吸を計つて居りましたが……

『エイ』……『ヤッ』と一段高き掛聲何れが切り込んだのか分らぬ、ピカリッ火花が散つたと同時に、合せた太刀を付入つて安兵衛武庸お吉は、かつとなつていつた。

『み國に恥をかかせたのは、（松島の特色）小倉博

の時間）お話（傳書鳩）テキスト一〇ページ 田中豐藏

△八、三〇 九、〇〇 ーカ 清元（種蒔三番叟）

△九、〇〇 九、三八A 獨唱 管弦樂

△九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組 告知事項

△一〇、〇〇 農林省畜産課長石崎芳吉 組豫告 告知事項

△一〇、一〇 一〇、二〇A 經濟市況

△一〇、二〇 一一、〇〇A 家庭講座（二月の花と盆景）『一』小島泰次郎

△一一、四〇A 經濟市況

△正午 時報

△後〇、〇五 〇、四〇A 講演（孝女ものよ）神田伯治

△〇、〇〇 全國ニュース

△〇、一〇 氣象通報 告知事項

△一、〇〇 一、五〇A 經濟市況

△二、〇〇 二、三 A 家庭講座（女性のための哲學）『第四講』ギリシヤの哲學日大教授松原寛

△二、三〇A 經濟市況

△三、四〇 氣象通報積雪量

△三、五〇 經濟市況

△四、〇〇A 全國ニュース

△五、〇〇 五、三〇A 講演（本邦綿羊の現況に就て）

△五、三〇A 經濟市況

△五、四五 今晩の番組豫告

△六、〇〇 六、三〇（子供の時間）お話（傳書鳩）テキスト一〇ページ 田中豐藏

△六、三〇 七、〇〇A 英語講座（初等科一〇）岡倉山三郎

△七 A 全國ニュース（官廳ニュース含む）

△七、二五 七、五五 講演（松島の特色）小倉博

△八、〇〇 八、三〇A 浪花節（櫻田烈士鯉淵要人）門家右樂遊

△八、三〇 九、〇〇 ーカ 清元（種蒔三番叟）

△九、〇〇 九、三八A 獨唱 管弦樂

△九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組 告知事項

『ホウ夫れはよくぞ心付いた、其の者は果して上野介の御面体を存じ居るか』……『役目が役目故知らぬ筈はありますまい只今召連れたが、兩國を渡るは公儀へ恐れありと取つて返して一つ目へ出で、橋を渡つて真一文字に河岸を打ち永代橋へと差掛かりました、此時後の方より跳足の儘大小を魂もありませぬ、ドンと其處へ投り出されたが見ると主人の吉良上野介、左右の袴を取られて引据えられて居る、幾ら不忠不義の孫兵衛でも主人の顔を見ては驚かずには居られない……

『アッ殿樣これは何たることでございませう』……『默れなにをうろたへる、予は汝の主人ではないわ』と云つたが最う追つ付ませぬ、内藏介兩手を突いて……

見分けをさせませう』……於て一々名前を名乘つて引上げました、是れは討死取殘されたものゝなきを確めるためでございませう、松坂町より一旦兩國橋へ掛つて……『以はありますまい只今召連れたが、兩國を渡るは公儀へ恐れありと取つて返して一つ目へ出で、橋を渡つて真一文字に河岸を打ち永代橋へと差掛かりました、此時後の方より跳足の儘大小を魂もありませぬ、ドンと其驚摑みにして一散に駈けて處へ投り出されたが見ると來る一人、是なん當時の大主人の吉良上野介、左右の學者細井廣澤でございます

『堀部氏待たれよ』……『オ先生でござるか』……『今更申すも愚なれど、今度の一舉は人臣の鑑、生倉武士の目を覺さするに屈竟のこと、國のお爲め親着至極』

……『然なりござる』双方とは長い間の親交のあつた中、名殘は盡きませぬが茲で別れを告げ一同は泉岳寺へ引上げる、後大石藏内〃下以は四大名へ分けて預け安兵衛は松平隱岐守樣へお預けになりましたが翌年二月四日切腹して相果てました。『赤鞘安兵衛』は是にて大團圓……。

景品附大廉賣
舊正月二日三日兩日間……！
特に先着十五名に限り靴一足づつ進呈致します
靴鞄小學生ランドセル
大破格を以て御用を御勉めいたします。
田町大通り
福山靴鞄店

時計職見習生募集
十四五才ゞ詳細面談要保證人
平町 精幸堂

乳の出る大妙藥アリ
平五 山野邊藥局

不景氣飛ばし
景氣はお子さんから
羽子板で
景氣をハネ上げ
破魔弓で
不景氣魔を破る
皆さん御祝ひしませう
平町四丁目
スガノヤ提灯店
（電九五）

夜診
腸胃
科
内
十二指腸虫病
專門
内科部
梅毒
淋病
皮膚病
婦人病
專門
外科部
松村醫院
胃腸病性病科
（平南町電話一〇七番）
療問

例年通り付大賣出し
平素の御引立に報ゆるため格安品を豐富に取揃へ、御奉仕大提供！
舊正月二日、三日、四日の三日間
吉ふかや洋服店

内科、小兒科
外科一般、婦人科
梅毒、淋疾
皮膚病
市原卯太郎
市原陸郎
市原三三男
平町田町本通
市原醫院
入院隨意
電話一一四番

吉例
舊二日
大景品付初賣
二月十八日
午前一時開店
一年の御愛顧に報ゆるに此の事品
初買は商品豐富な三井へ……是非……
金五圓以上 御手拭 壹反
金拾圓以上 薄團皮 壹反
金貳拾圓以上 本紡績 壹反
金參拾圓以上 新銘仙 壹反
金五拾圓以上 本銘仙 壹反
金百圓以上 仙臺平・丸帶 羽二重紋附
●御買上金高多少に不拘御年玉呈上
當日午前一時より午後六時まで御來店御買上の方に
緣起のよい三井の富久袋呈上
混雜致しますから商品券を御利用下さい
平町 三井呉服店

御買上金高

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

神戸牛そこのけの
優秀清新の……
牛肉大値下
ヒレ 百匁 九〇
ロース 同 七〇
上肉 同 四〇
並肉 同 二〇
五〇〇〇
お用命次第いか程にても早速お屆け致します
電氣すき燒器を取付けました
スキッチひとねじりで直ぐグツ〳〵と煮上ります。正に超スピードです……
味は？これ自慢ながら
百パーセントです
お家族樣御同伴を歡迎いたします
平町田町
牛豚鳥料理 石川亭
電四三

一九三一年式
安價百パーセント
平町有聲座前
秋山時計店

今深更から明早曉へ
舊二日終日の人出
賣上げはよし減っても 例年通りの賑ひを豫想

賣り買ひ 初め

賣る方では勿論買ふ方でも待ちに待つた例年の賣りそめ買ひそめは愈々明日に迫つた。而も今年は永らくの不況に惱みぬいてゐる折柄とて各商店では大奮發で良品廉賣の現金化を意氣込むし一方買ひ手もこんな年には格安によい品でも手に入れなければ尚ほの事遣り切れなくなると蚤取り目で店から店へ正札を比較研究しあるく云つた風でこゝのところ賣り手買ひ　の呼吸が唱戰とも云ふべき今朝來のヒッタリ合つてゐるから面白い。そこへ考案されたのが飽く迄客の購買心を誘ふ從來の型を破つた所謂三一年型の廣告戰術。書き入れ日をがありそうなので彼此結局明日に控へた今舊元日の新の賣り上げに於ては若干の聞に折り込まれた色とりどりのチラシ丈けでも　呉服店六、時計店三、洋服、洋品、蓄音機、運動具、金物、漆器、酒、菓子、賣りはあるまいと豫想される藥、各一、合計十八と云つた具合に何の事はない紙上百貨商店と云つた光景でそれが悉く　なにが○○をそうさせたか、紀元二、五九一初頭……スーパーサービスといふ調子でどれもこれも尖端的な文句を並べ福袋進の買ひ上には　れなくなると蚤取り目で店之々の景品だと財布に限り、ある買ひ手をして去就に間誤つかせる有樣で明日の前の呼戰とも云ふべき今朝來の廣告戰術は實に從來曾て見なかつた猛烈サであるが前記の如く時節柄良い品を安く買はうとする買手の張り込みも之亦從來以上のもの決局結局明日の前の賣り上げに於ては若干の減少を見るは已むを得ないとするも早くも今深更より明早曉へかけての賑かさは恐らく例年よりも大した劣

石城郡で二千俵
第二回買上米數量決定
相場發表前の申込多數

今回實行する內地米買入れの道府縣產米銘柄別買入れ豫定數量及び價格はこの程決定告示された縣下に於ける買入れ豫定數量は八萬六千七百五十七俵で石城郡內の割當て二千俵に對し之れより先　勿來町一、〇〇〇俵、平窪村三二〇、神谷三四〇、植田町四〇〇、合計二、〇六〇の申し込みあり若干の超過を見てゐるが相場判明前の申し込みなので今後果して異動を生ぜざるや否や測り難きものがある

買入れ價格表　一俵當り買入れ代價は發表の價格に依る本年四月一日償還の米穀證券を以つて支拂ふものとす、但し受渡期限（本年三月三十一日）經過後の受渡米については昭和七年四月一日償還の米穀證券を以つて支拂ふの外なきを以て此場合には發表の價格に俵當り金二十七錢を加ふるものとす

銘柄	價格
磐城 一等	七、六二四
二等	七、五四
三等	七、四二
四等	七、二八
五等	△七、〇二

（備考）—縣下所在倉庫に於いて受渡しをなす福島縣產米は俵當り金二十錢を減ず
發表中△印を附したる等級は政府に於いて特に貯藏上優良と認めたるものに限り買入れるものとす

成る程そうだつたと
追憶の涙に咽ぶ
死亡屆の錯誤が生んだ
學校關係の哀話

平町に於ける本年の就學兒童は本籍者二百八十九名寄留者三百七十三名合計六百六十二名に上り比年學級不足に惱んでゐる當局の目を丸くさせてゐるが實際は前記寄留者中一割內外の死亡者があるらしいとの事で今や新學期を目前に控え役場當局をして其間の精査に奔命せしめつゝある事の起は寄留者が子女を喪つた際の死亡屆に單に平町內の現住所のみを記し寄留者たる旨の記入を洩らした爲に生た錯誤で斯の種の屆書は從來永い間單に役場を經由するに止まり平町役場の公簿から死亡者として沫削されず今尚ほ生存者として取扱ひ本年の就學兒童は本籍者二百八十九名寄留者三百七十三名合計六百六十二名に上り比年學級不足の原因は役場吏員がその家に臨み就學屆を徵せなかつた事から既に記憶よりとんんとしつゝある亡兒の思慕を新ならしめ脊髓に刺戟を與へるが如きは吏員としても忍びざる處であるから寄留者の諸願屆書には特に留意して欲しいとの事である

調節の効果
農村經濟との關係

前記石城郡內の申し込み數が相場發表後尚ほ異動なしとすれば石城の買上げは最も理想的に終始するわけであるが目下地方の小農家は舊正月を迎ふる以前殆んど所有米を手放してゐるので買上げに應ずるものは一部地主階級か或は商人が大部分と見られるので今回の買上げは小農家の救濟にも又米價釣り上げ策にも何等効果なく一般農民の期待を裏切る結果となるではないか

投書歡迎　拈華微笑寸解

◇この頃のある晚床屋へ行つて順番の來るのを待つてゐると『磐新』を讀んでゐた一人の男が『テンカビセツ』と云つて何のこつたらう』と獨り言ち乍ら頻りに小くびをかしげてゐたが折角の拈華微笑も恁う片づけられてはお釋迦樣もそれこそ微笑せずには居られまい

◇釋迦蓮華を拈つて衆に示した處衆その意を解せずしに迦葉獨り微笑したり之その意を悟りしにて以心傳心の妙處なり。と云ふのがその正体だ

◇その日のニュースなりストーリーなりを總括したその日その日の短章に標題した事の當否乃至記事の所謂エッセンスとしての價値の有る無しは始らく問はずたゞ讀者のうちに前記のテンカビセツ連がもつとあらうかと云ふ婆心からオセツカイた所以である（舊城跡しげ男）

松川葉禮讚

◇私はこれまでバットを愛煙しておつた、しかもそれが井戸水よりも茶を立てる樣に限つて以心の都度、半分にチョギツて使用した。つまり一個を二個同樣に價値づけた譯だ

◇ところがこの世にきせるの存在を今更の如く知つたのだ。幸ひ、七十八歳でも物故した祖母の座右を片時も離れなかつた銀のきせるを發見したので、早速あやめの五夕を購なふてふかして見た。ところが卷タバコ味はゝれない優雅な香味がある

◇それは丁度かけひの水が